

2023年10月31日

株式会社池松機工

代表取締役社長 長井 敏哉 様

公益財団法人 地方経済総合研究所

代表理事 笠原 慶久

モニタリング検証報告書

1. 検証の対象および目的

本検証は、以下の期間において、株式会社池松機工（以下、池松機工）が設定した KPI を対象に実施した。

また、本検証は、ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書（以下、評価書）に掲げる KPI の進捗を確認することを目的としている。なお、評価書は国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り 2022 年 9 月 30 日に発行した。

【検証期間】

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

2. 検証の方法

評価書に掲げた KPI について、担当者へのヒアリングを基に、検証を進めた。なお、進捗の妥当性は、適宜疎明資料を受入れることで確認している。

3. 検証期間における特記事項

| | |
|------------------|--|
| My SDGs 宣言カード | 新入社員含め、全社員が自身で取組む SDGs を宣言し、名刺サイズのカードとして携帯している。宣言内容は職場内に限らず、家庭や地域での目標等多岐にわたり、社員への意識付けに大きく貢献した。 |
| 低離職率と 高い再雇用率 | 新入社員の離職率が高いとされる製造業において、業界平均を大幅に下回る離職率を維持。また、定年退職者のほとんどと再雇用契約を結んでおり、持続可能な組織づくりにつながっている。 |

4. 検証結果

ヒアリングを基に、検証結果を以下の評価基準を参考に、次の通りまとめた。

| 重要課題 | 取組事項 | KPI | 実績 | 評価 |
|----------------------|----------------------|---------------------------|------|----|
| 顧客ニーズや時代変化に対応した製品づくり | DXを駆使したスマート工場 | DXの活用による生産効率 (非公表) | - | - |
| | 多面パレット搭載設備の継続的な導入 | 多面パレット比率 (2025年に60%) | 45% | A |
| 環境・社会に配慮した事業活動 | 事業活動における環境保全 | CO2排出量(2030年に2020年比30%削減) | ▲6% | A |
| | EA21の推進 | 廃油、廃プラ等リサイクル率 (100%継続) | 100% | A |
| | インターンシップ、工場見学などの受け入れ | 実施回数(受入れ人数2人/年 継続) | 9人/年 | S |
| | 地域イベントへの参加 | 参加者数(非公開) | - | - |
| 持続可能な組織づくり | 健康経営の取組み | 健康経営優良法人 (認定継続) | 継続中 | A |
| | 資格取得支援 | 就業に必要な資格取得率 (100%) | 100% | A |
| | 人権教育の取組み | 社内人権研修回数 (年2回) | 1回 | B |

【評価基準】

S：目標を大きく上回る A：当初の期待通り B：目標を下回る C：目標を大きく下回る

以上